神戸新聞 2016年01月29日 金曜日 面名 淡路 １３ 29ページ

郷土の名産 淡路瓦学ぶ

南あわじ 西淡中３年生

工業組合のPR委員企画 講演聞き製作体験

淡路島の伝統品「淡路瓦」を学ぶ授業が28日、名産地として知られる南あわじ市の西淡中学校で開かれた。三州（愛知県）、石州（島根県）と並ぶ瓦の三大産地として400年の歴史を誇る郷土の魅力を伝えようと、淡路瓦工業組合（同市湊）のPR委員が企画。3年生約80人が講演や鬼瓦作り体験を通じ、品質の良さと仕事のやりがいを感じ取った。（佐藤健介）

この日はまず、体育館で瓦製造会社員が業界のあらましを講演した。良質の土が採れ、海運輸送に適するなど発展の背景のほか、防水・防風性に優れて200キロ超の重さに耐えられるといった特長を解説。建物の平穏を祈って飾られた「鬼瓦」「懸魚」のほか、壁面や床の景観材として使われる事例も示した。

教室に戻り、瓦師らの手ほどきを受けながら鬼瓦製作にチャレンジ。竹串を使って粘土に顔のデザインを刻み、カッターナイフで目や口をくりぬいた。角や牙を付けると、いかめしく、どこか愛嬌（あいきょう）ものぞく、自分だけの鬼が姿を現した。

今後は業者が焼き上げて生徒たちに贈る予定。齊藤烈矢君(15)は「細かい作業がとても難しい。良い表情と輝きのある瓦を作る人たちはすごいと思った」と感心していた。

個性いろいろ。出来栄えに満足そうな表情を見せる生徒たち＝いずれも西淡中学校

鬼瓦をこしらえ、瓦師たちの丁寧な手仕事を体験した

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名前【　　】

① 瓦の日本3大産地を答えなさい。

（　　）（　　）（　　）

② 淡路瓦の特長について書いてある部分に線を引きましょう。

③ この記事を読んだ感想を書きましょう。

NIEワークシート／小学校高学年～中学校／社会、総合、朝NIE